市役所は一部の部署で毎週土曜日開庁しています

近ごろ耳にする「コミュニティビジネス（CB）」

地域社会には、ライフスタイルの多様化により、環境問題、介護や子育て支援、まちおこしなど、さまざまな社会的課題があります。CBはこのような多様化した課題を市民、市民団体、NPO、企業と行政などがともに手を携え、ビジネスの手法を取り入れることで事業性を確保しつつ解決を図ろうとする新しい地域参加の形です。

CBは新しい公共の担い手となるとともに、起業による雇用機会創出が図れるなど、地域に元気を与える効果も期待されており、市はその育成を図っています。

問合せ シティセールス推進課まちの魅力創造グループ ☎551・1740

市民活動支援講座・ミニブルーム交流カフェ・コラボ企画

▼第1部「つながりが〝まち〟を変える～コミュニティビジネスのすすめ～」

今、地域コミュニティの見直しと、その担い手である活動が着目されています。講座では、地域のつながりを大切にした活動としてのCBの役割を学びます。

地域にねざすということ、コミュニティビジネスを始める準備や心構え、活動目的と資金運営のバランスの保ち方などをお話しいただきます。

▼第2部「地域交流会」

仲間づくりや情報交換の場としてご活用ください。

日時 10月1日(土)午後2時～4時30分
場所 輝き市民サポートセンター
講師 紀平容子氏（NPO法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会代表理事）
定員 20人
申込み 電話またはFAXで輝き市民サポートセンター ☎551・0166へ（FAX同じ）。

SLE（全身性エリテマトーデス）講演会

専門医の先生から病気について、治療法や病気と上手に付き合う方法についてお話していただきます。

テーマ SLE（全身性エリテマトーデス）と上手に付き合うために～病気の理解と生活上の注意～
日時 10月6日(木)午後2時～4時
場所 羽村市生涯学習センターゆとろぎ地下1階レセプションホール
講師 西成田進医師（公立阿伎留医療センター副医院長）
対象 療養中の方、ご家族の方、関係者
定員 30人程度（申込多数の場合は先着順）
申込み 9月30日(金)までに電話またはFAXで西多摩保健所保健対策課地域保健係 ☎0428・22・6141、FAX0428・23・3987へ。

都営交通（都電、都バス、都営地下鉄）無料乗車券の更新について

平成23年9月30日までの無料乗車券をお持ちで、引き続き利用される方は9月1日から更新手続きができます。また新規申請される方については随時、手続きできます。

対象者 身体障害者・知的障害者・戦傷病者・原爆被爆者・生活保護受給世帯員・児童扶養手当受給世帯員・被救護者・中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律に規定する支援給付を受けている方またはその配偶者
申請に必要なもの 対象者であることが証明できるもの（手帳、証明書、通知書等）、現在お持ちの無料乗車券
問合せ 障害福祉課 ☎551・1742

～自殺防止！東京キャンペーン～

9月は東京都の自殺対策強化月間です。

【特別相談の実施】

●東京都自殺相談ダイヤル～こころといのちのほっとライン～
期間 9月5日(月)～9日(金)（24時間）
☎0570・087478

●自殺予防いのちの電話
期間 9月10日(土)午前8時～11日(日)午前8時（24時間）
☎0120・738・556（毎月10日、フリーダイヤル）

●48時間特別相談
期間 9月10日(土)午前6時～11日(日)午前6時
☎03・5286・9090（東京自殺防止センター）

●自死遺族のための電話相談
①期間 9月5日(月)～7日(水)午前10時～午後10時
☎03・5988・7778（全国自死遺族総合支援センター）
②期間 9月8日(木)～11日(日)午前10時～午後10時
☎03・3796・5453（グリーフケア・サポートプラザ）

●多重債務110番
期間 9月5日(月)・6日(火)午前9時～午後4時
☎03・3235・1155（東京都消費生活総合センター）

●東京都ろうどう110番
期間 9月7日(水)・8日(木)午前9時30分～午後5時
☎0570・00・6110（東京都労働相談情報センター）

小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチン接種費用助成

ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン・接種実施医療機関

医療機関名	電話番号	ヒブ	小児用肺炎球菌
青山医院	530・3011	●	●
岡村クリニック	530・5644	●	●
笠井クリック	551・6611	●	●
熊川病院	553・3001	●	●
ささもと整形外科形成外科クリニック	539・2300	●	●
島井内科・小児科クリニック	553・6151	●	●
東福生むさしの台クリニック	539・1223	●	●
ひかりクリニック	530・0221	●	●
公立福生病院	551・1111	●	●
福生団地クリニック	539・3026	●	●
山口外科医院	553・1177	●	●
渡辺医院	553・0815	●	●

内容 平成24年3月31日までに市内の指定医療機関で接種した方に対し、接種費用の約9割を公費で負担します。
対象 接種日に福生市内に住所がある方で、かつ、生後2か月～5歳未満の方
自己負担額 ・ヒブワクチン1回880円・小児用肺炎球菌ワクチン1回1,120円
接種回数及び接種場所 左表を参照してください。
持ち物 保険証、乳幼児医療証、母子健康手帳※予診票は各医療機関に設置しています。事前に医療機関へお問い合わせください。

【接種に係る健康被害に関する救済措置について】

これらの予防接種は、予防接種法に基づかない任意の予防接種（保護者の責任において接種するもの）であるため、万一、健康被害が発生した場合でも予防接種法の被害救済対象になりません。

接種希望者、保護者は、医師からワクチンの効果と副反応についての説明を受けてから接種してください。

問合せ 保健センター☎552・0061

【ワクチン対象年齢と接種間隔】

種類	対象年齢	接種間隔
ヒブ	生後2か月以上7か月未満	4～8週間隔で3回接種、1年後に1回
	生後7か月以上12か月未満	4～8週間隔で2回接種、1年後に1回
	生後12か月以上60か月未満	1回
小児用肺炎球菌	生後2か月以上7か月未満	27日以上の間隔で3回接種後、60日以上の間隔で1歳～1歳3か月の間に1回接種
	生後7か月以上12か月未満	27日以上の間隔で2回接種後、60日以上の間隔で1歳後に1回接種
	生後12か月以上24か月未満	1回の接種後60日間以上の間隔で追加1回接種
	生後24か月以上60か月未満	1回

▼敬老大会を開催します▼

渥美二郎

日時 9月11日(日)午後1時～（開場午後0時30分）
場所 市民会館大ホール（もくせいホール）
対象 市内在住の65歳以上の方
内容 【一部】式典【二部】演芸アトラクション（渥美二郎による歌謡ショー他）

▼敬老金・敬老記念品を贈呈します▼

9月15日現在、77歳・88歳・99歳及び100歳以上の方に、敬老金を贈呈します。また、9月15日現在で70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳及び100歳以上の方に、ご長寿を祝い敬老記念品（商品券）を贈呈します。※お渡しの際に、受領印をいただきます。

敬老金の贈呈方法 民生委員がご自宅へお届けします。100歳以上の方は、市長がご自宅へ訪問します。

敬老金	77歳	88歳	99歳	100歳以上
	10,000円	20,000円	30,000円	50,000円

敬老記念品（商品券）の贈呈方法 福生市シルバー人材センターがご自宅へお届けします。お渡しできなかった場合、10月6日(木)以降、市役所1階9番介護福祉課高齢福祉係で配布します。100歳以上の方は、市長がご自宅に訪問します。

敬老品（商品券）	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳	95歳	100歳以上
	5,000円分	7,000円分	10,000円分	12,000円分	15,000円分	17,000円分	20,000円分

問合せ 介護福祉課高齢福祉係☎551・1751

10月の女性悩みごと相談～羽村市との共同事業～

相談日時・場所 【福生市】12日(水)・26日(水)午前9時～午後1時・市役所1階第1相談室
【羽村市】5日(水)・19日(水)午後1時30分～午後4時30分・羽村市役所東庁舎1階福祉事務所内相談室
※福生市・羽村市在住の女性の方でしたら、どちらの市へ申し込まれてもかまいません。
定員 先着3人（予約制）
申込み 予約は、相談日の1か月前から福生市広報広聴係☎551・1529、羽村市市民相談係☎555・1111へ。

「ご近所で手を取り合って助け合い」　町会・自治会に加入しましょう